

市町連だより

しょうれん

第30号
平成24年2月29日

発行責任者
千歳市町内会連合会
会長 沼田常好
千歳市東雲町1丁目11番地
千歳市社会福祉協議会(2F)
TEL.0123-49-7100
FAX.0123-49-7300
印刷
(株)フロンティアエージェンシー

平成23年度

市関係者と市町連との懇談会の開催

11月11日(金)にANAクラウンプラザホテルで「平成23年度市関係者と市町連との懇談会」を開催しました。会には、千歳市から山口市長はじめ18名、市町連から62名が参加しました。

市町連から提出した「市町連要望書(生活環境関係18、施設整備関係3、道路整備関係5、防災・防犯関係9、交通関係10)の45項目について市の各担当部長から回答説明を受けました。また、現在の重要課題として「集団資源回収システム」「防災計画の見直し(防災組織、災害時要援護者支援、収容避難所等)」について補足説明がありました。

今年度は、9月12日から9月16日にかけて各ブロック会議が行われ、市の担当職員から22年度要望事項の進捗状況と「まちづくり基本目標」に沿う予定等の説明を受けた後、23年度要望事項(案)について意見交換を実施しました。

ブロック会議の後各町内会が修正・訂正した要望事項をとりまとめ、市町連として市に提出しました。

「懇談会」終了後、市関係者と市町連町内会長との懇親会が開かれ大いに交流を図ることができました。

なお、市からの回答文書については各町内会長へ送付済みです。



平成23年度 市関係者と市町連との懇談会

総務部長

柿原堅一郎

「平成24年市町連の変革の初年度」

市町連会長 沼田常好

昨年は各町内会皆さまのご協力ご鞭撻を戴き心よりお礼申し上げます。

東日本大震災に対して各町内会より一千九百九十四万一千五百二十円の義援金が寄せられ、紙面をお借りして感謝とお礼を申し上げます。

さて、本年は辰年「変化の起る年」と言われています。市町連も23年度総会で承認されました規約の一部改正に伴い役員組織が大きく変わります。

理事は55名から31名に減員、専門部会は7部会から「総務広報部会」「安全環境部会」「福祉青少年部会」「女性部会」の4部会に統合し、各部会は8、10名の部会員が事業を計画・実施します。また、ブロックを各町内会との接点として双方向の情報共有化を図ります。

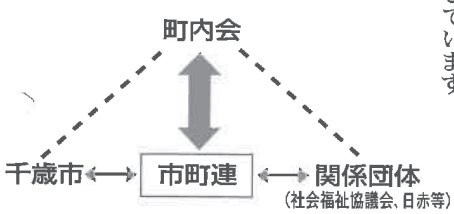
結び、本年が皆さまにとって「健勝で活躍される1年」でありますようお祈りしますとともに、市町連に対してもお力をお貸し下さいますようお願い申し上げます。

千歳市町内会連合会(市町連)とは?

千歳市町内会連合会(市町連)は千歳市内の町内会・自治会で構成する任意の自治団体で、現在141の町内会・自治会が参加しています。

市町連は、町内会の健全な発展と住民福祉の増進を目的として以下の活動を実施しています。

- 1 地域住民に関係する千歳市及び関係団体の施策を各町内会に通知して情報を共有する。
- 2 各町内会からの要望事項等について千歳市及び関係団体と協議して解決策を追求する。
- 3 福祉に関する各町内会の問題意識を把握し、市町連独自の事業および千歳市・関係団体が行う施策に協働して地域福祉を充実する。



若草町内会

町内会長 小泉 義隆

若草町内会創立30周年記念式典

平成23年2月12日、若草町内会館において山口千歳市長はじめ多数のご来賓の出席を賜り「若草町内会創立30周年記念式典」を開催しました。

町内会長は式辞で、昭和56年1月17日に発足以来30年を迎える喜び、若草の発展に努力された多くの先輩に対する敬意と感謝、30年の歳月に伴う町内会員の高齢化と地域福祉充実の必要性、住みよい町・住んでみたい町づくりを力強く進んで行くことを力強く宣言しました。



式辞につづき町内会の運営活動に多大な貢献をされた3名に表彰状と記念品が授与されました。

参列者の席には実行委員会が編集した向陽台の開村から現在の若草になるまでの30周年記念誌「わかくさ」が配られ、その中に今後の若草の取り組みについての決意を垣間見ることが出来ます。

余興では、会員による大正琴の演奏、民謡、詩吟が披露され大いに祝いの席を盛り立てました。この日が若草町内会の新たな町づくりのスタートとなりました。

おさつ団地町内会創立20周年記念行事

当町内会は、平成2年に新興住宅地の北陽1〜4丁目、北光6、7丁目、長都駅前1丁目の居住者で創設し、今や890世帯を抱える大所帯に成長しました。

当初の町内会館はマンモス学校といわれる北陽小学校に隣接した北陽3丁目4-4の旧土地区画整備事業の建物を「おさつタウンセンター」と呼んで使用していましたが、町内の発展に伴い会館も手狭で不便になってきました。

初代町内会長三溝氏と2代現職小林会長のもと総勢約60名の方々が役員として町内会を運営し、早くから長期計画に基づき建設費を



積み立てて参りました。これを財源として平成22年に懸案の町内会館の増改築を成し遂げました。

新しい会館は「おさつタウンセンター」の名称を継承しました。23年1月に新年会・会館落成を併せて「町内会創立20周年記念式典」を挙行し、山口千歳市長はじめ多くのご来賓をお招きして会員一同喜びを分かち合いました。

今後も地域防災等町内会に寄せられる課題は山積していますが、一つずつ解決へ向けて取り組み、究極の目標「地域に根ざした、会員の安心、信頼、満足、感謝」を肝に銘じて汗を出し合うことをここに誓います。諸兄の温かいご指導とご支援をお願いいたします。

おさつ団地町内会

町内会長 小林 勲

福祉部会

福祉部会長 村上 芳男

23年度の福祉部長等研修会は、昨年に引き続き千歳市保健福祉部の協力を戴き、9月12日市総合福祉センターにおいて各町内会の会長、福祉部長、福祉委員、民生児童委員等93名が参加し、三崎高齢者支援課長から「千歳市における高齢者福祉の現況と課題について」の講演を受けました。

一口に「高齢者福祉」と言われていますが、高齢者個々の生活環境や人生観の把握等には個人情報保護の壁があり、みんなが満足する施策を実行するには財政上の制約がある等、複雑かつ多岐にわたる課題が多いことを痛感しました。

24年2月18日(土)千歳市民文化センター中ホールにおいて「ちとせ地域福祉フォーラム」が開催されました。内容は(1)特別報告「岩手県における震災被害と弱者対策」(2)パネルディスカッション



「災害時要援護者避難支援プラン個別計画推進モデル事業」救急カード普及モデル事業」です。市町連は構成団体としてこのフォーラムに協力しています。

女性部会

女性部会長 原口 秋子

○23年7月21日
女性部長等会議

各町内会女性部の活動・悩み・行事等の情報交換。105名の参加者を、6グループに分け討議。全体会にてグループの代表による発表。時間が足りないとの意見が出た。来年は時間配分の再検討を行なう。
○23年10月22日

秋季、施設の大掃除を再開
やまとの里、暢寿園。2箇所の福祉施設の大掃除実施。

○23年11月22日

「すてきなあなたへ」出前講座
女性に多い病気、予防と年代ごとの健康管理。101名の参加にて実施。

○24年1月19日

各町内会女性部長、役員等新年交流会
125名参加。アトラクション「和太鼓」千舞泉美 太鼓演奏、ビンゴゲームを楽しむ。



記念事業を おこなった 町内会を ご紹介します

北栄東町内会館新築完成

皆様まに
おかれましては例年になく強いお気持ち
で平成24年の元日を
迎えられたことと思います。

平成22年度事業として念願であつた町内会館の移転新築に着手し、9月15日に完成しました。

総工費2,143万円のうち1,500万円は市の補助で残りを町内会が負担しました。敷地面積は412平方メートル、建物面積は218.6平方メートル(うち資源庫24.8平方メートル)の木造平屋建て



大会議室・小会議室・厨房などを配置し旧会館のほぼ2倍のスペースを確保しました。特長は、車椅子で行動できるバリアフリー設計と玄関横外壁に「千歳市民憲章」を掲示したことです。

建設に係わった多くの方々のご努力に篤く感謝申し上げます。町内会館を中核として地域のつながり・絆を深めるコミュニケーション活動や健康・生き甲斐づくりを活用して行きたいと思っております。

結びに、東日本大震災の被災者皆さまの一日も早い復興をお祈りいたします。

部 会 報 告

安全部会

安全部会長 清水 清

23年度の町内会自主防災活動研修会は、東日本大震災の教訓から「災害！その時に備えて」地域自主防災組織の充実を図るために」をテーマとしてお二人の講師に講演を依頼し、11月23日、千歳市民文化センター中ホールで開催しました。会には各町内会の会長・防災安全部長等約360名が参加しました。

最初に第11普通科連隊副連隊長の斗賀山2佐が「東日本大震災に対する災害



災害派遣活動報告

派遣活動報告」と題して、3月15日から石巻市・大槌町で実施した応急支援活動（人命救助、捜索活動、安否確認）と給食・給水支援活動（温食配給、入浴支援、女性隊員の活躍等）について講演しました。想像を絶する被害状況の中で過酷な任務を遂行した隊員に深い敬意と厚い感謝を表します。

次いで、北海道大学の新谷 融名誉教授が「災害教訓からみた住民自主の安全街づくり」と題して、地震・火山・津波等自然災害の多い列島で生きる日本人は「先人の知恵が命を守る」こと、「地域環境の危険を的確に想定することが重要である」と指摘されました。前者の例として東北地方の子ども達に伝承された「つなみてんでんこ・高台へ！」、千歳市周辺では樽前山の活動、特に火山流・土石流・支笏湖の氾濫を想定しなければならぬと強調されました。

環境部会

環境部会長 越智 誠一

23年度の施設等視察研修は、千歳市のゴミ分別方式の見直しにより10月から開始されたプラスチックゴミの分離回収を控え、8月25日上長都のマテック（株）千歳支店のプラスチック新破碎処理工場を訪問しました。当工場は8月から試運転を開始しており現在は一般公開されてい

当日は各町内会の会長・環境部長等57名が参加し、大型バス1台が満席となる盛況と活発な意見交換が行われ環境部会活動の大きな成果となりました。視察研修に携わった関係担当者のご協力に感謝いたします。



破碎処理施設の視察

青少年部会

青少年部会長 愛澤 祐司

本年度の青少年部長等研修会は、各町内会の青少年部長等40名の参加を得て10月8日市総合福祉センターで開催しました。第1部の講演は「い



の現状のはなし」と題して市教育委員会の担当者から千歳市の教育現場の実態が報告されました。また、DVD資料「子供の携帯と親の取り組み方」を観て父母の留意すべき事項を学びました。昼食を摂りながらの懇親会は大いに交流を深める機会になりました。

第2部は、「青少年健全育成活動の情報交換」と「青少年育成機関・団体との連携」についての懇談会で、各町内会から具体的実践事例の紹介があり参考とすべき事例が多数ありました。まとめとして部会長から「これからの青少年育成活動と地域づくり」「新しい青少年育成活動とは」をテーマとして具体的取り組みの講話があり終始熱心な研修会でした。